



カリキュラムにおけるESDの制度化 —上智大学における環境リテラシー教育—

鬼頭 宏(地球環境研究所/経済学部)
URL: <http://gp.genv.sophia.ac.jp>
HESDセミナー2008
サステナビリティに向けた大学教育の挑戦
立教大学/2008/12/13

1

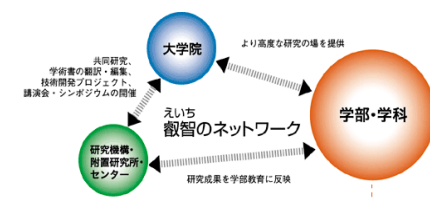
環境リテラシー:新たな教養

1. グローバル化した現代世界を主体的に担っていく人間にとって、地球環境を正しく理解し、学び、良い地球環境を保持するために行動することは、必要不可欠なあらたな教養である。
2. 持続可能な社会を形成するために必要な能力と意欲とリーダーシップを備えた「環境人材」を養成することは、大学にとって重要な使命になった。
3. この取組では、すべての学生を対象にする全学共通教育に体系的な環境リテラシー科目群を設置する。

2

学部学科・大学院との連携

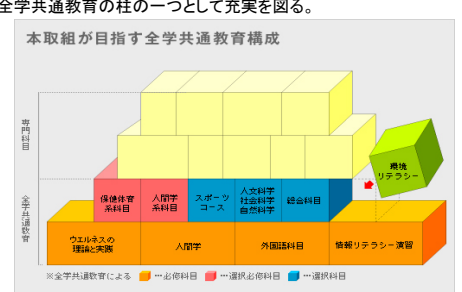
法学部地球環境法学科、大学院地球環境学研究科ほか学部・学科で行っている専門教育としての環境教育と連携を図りながら、全学生を対象に学術の基礎教養としての環境リテラシー教育の体制を整える。



3

カリキュラムの体系化(1)

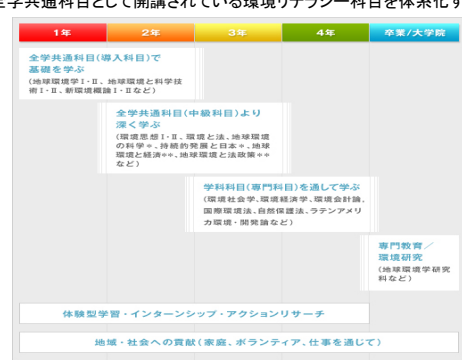
キリスト教人間学、ウエルネス、国際理解(語学)、情報リテラシーと並ぶ全学共通教育の柱の一つとして充実を図る。



4

カリキュラムの体系化(2)

全学共通科目として開講されている環境リテラシー科目を体系化する。




5

構想:科目群の構成

1. 環境リテラシー科目群を、全学共通科目として設置。さらに学科科目の中から選定して指定。
2. 科目群の区分
 - 1) 基礎科目 導入的・俯瞰的・総合的
 - 2) 中級科目 高度な内容・特定のテーマ
 - 3) 関連科目 学科科目より選定
 - 4) 演習・実習科目

6

構想：単位修得認定



1. 10～20単位を要件とする。
2. 単位修得認定は学科長が行なう。
3. 履修証明書または修了認定証(学長名)を発行する。
4. 成績表への記載：未定
5. 大学院(地球環境学研究科など)への優先的な入学を認めるなど、優遇措置を付与する。